

星野リゾートとゴールドマン・サックス 温泉旅館の再生事業で提携

星野リゾートとゴールドマン・サックス・グループは、温泉旅館・リゾートホテルの再生事業に協働して取り組むため、アセット・マネジメント会社を合弁で設立する基本合意書を締結しました。出資比率は50%ずつとし、星野リゾートの星野佳路社長が代表取締役役に就任します。

両社には、昨年からの温泉旅館のオーナーや地方金融機関から、温泉・リゾート施設の再生に関する相談が急速に増えています。その結果、両社は全国的に再生ノウハウが不足しているとの共通の認識を持つに至り、今回の基本合意を締結することになりました。星野リゾートは温泉旅館やリゾートホテルの運営ノウハウを提供し、ゴールドマン・サックス・グループは事業再生のノウハウを提供することによって、お互いの強みを活かしながら再生事業を進めていきます。具体的には、再生に必要な温泉旅館等にゴールドマン・サックス・グループが資金を提供し、アセット・マネジメント会社の指導の下、既存の経営陣・社員と協同で再生に取り組む事を基本にしますが、必要に応じて、星野リゾートが直接経営に乗り出す事も想定しております。

アセット・マネジメント会社は、様々なグレード・規模の温泉旅館等を対象に、今後数年間で50件程度の温泉旅館・リゾートホテルの再生を手掛けていく事を目標としています。再生事業を通じて、日本固有の文化である温泉旅館の維持発展に寄与するとともに、地元経済の活性化に貢献していく所存です。

星野リゾートは、ゴールドマン・サックス・グループと組むことにより、より早く、より多くの温泉旅館・リゾートホテルの再生に携わることができると考えております。

一方ゴールドマン・サックス・グループは、リゾート運営において高いノウハウと独自のコンセプトを持つ星野リゾートとの合弁アセット・マネジメント会社の設立によって、ホスピタリティ事業への投資先をさらに拡大できると考えております。

同リリースに関するお問い合わせ先

(株) 星野リゾート 広報/志賀貴美枝

電話：0267-44-1383 e-mail：laughing@hoshinoresort.com

ゴールドマン・サックス証券会社 コーポレート・コミュニケーションズ

オーランド・カマーゴ/松本 弘子

電話：03-6437-1648

【星野リゾート】

星野リゾートは1904年に長野県軽井沢町においてリゾート開発に着手、顧客満足、収益力、エコロジカルな運営という3つの要素を同時達成できるリゾート運営会社をビジョンとし、事業を発展させて参りました。軽井沢で培った独自の仕組みを活かし、2001年以降リゾート再生事業に取り組む機会を得ています。現在では本拠地軽井沢の他に、デザイナーズホテルとして名高い山梨県の「リゾナーレ」、東北最大級のスキーリゾートである福島県の「アルツ磐梯」、北海道の大自然と融合する「アルファリゾート・トマム」の経営を行っております。

星野リゾートの特徴は、その事業領域を「運営」に特化させている点です。日々の運営に継続的に携わり、顧客満足を維持する仕組みで安定的な施設稼働を達成し、効率的な運営を通して利益を生み出す仕組みを構築しております。

【ゴールドマン・サックス】

ゴールドマン・サックスはニューヨークに本拠を置き、アジア太平洋、アメリカ、ヨーロッパの主要44都市に現地法人、支店、駐在員事務所を配しています。日本では1974年に東京駐在員事務所を開設して以来、日本の企業・金融機関・政府機関に対して幅広い金融サービスを提供しております。

これまで日本国内において、シティホテル・リゾートホテルを中心としたホスピタリティ事業への投資を行うとともに、ゴルフ事業の再生などを手がけて参りました。

平成16年11月には、株式会社古牧温泉渋沢公園及びその子会社である十和田観光開発株式会社（本社：青森県）とスポンサー契約を締結し、古牧温泉事業及び奥入瀬温泉事業を承継する予定となっております。また、伊東の老舗旅館であるいずみ荘の事業再生を支援するなど、複数、地方の温泉・リゾート施設の再生案件に取り組んでいます。